

2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2026年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 レオン自動機株式会社

コード番号 6272 URL <https://www.rheon.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 幹央

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 福田 忠男 (TEL) 028-665-1111

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	9,599	8.6	692	△5.1	829	17.3	605	38.8
2026年3月期第1四半期	8,842	△7.2	730	△25.5	707	△34.5	436	△40.6

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 1,286百万円(826.1%) 2026年3月期第1四半期 138百万円(△91.3%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2027年3月期第1四半期	22	43	22	41
2026年3月期第1四半期	16	22	16	19

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	54,903	43,511	79.2	1,610.05
2026年3月期	54,405	43,062	79.1	1,593.43

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 43,482百万円 2026年3月期 43,028百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	27.00	—	31.00	58.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,000	5.3	2,830	15.6	2,860	11.9	1,970	15.1	73.09
通期	42,900	2.1	5,620	8.6	5,690	1.8	4,020	3.1	149.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年3月期1Q	28,392,000株	2026年3月期	28,392,000株
2027年3月期1Q	1,384,834株	2026年3月期	1,388,015株
2027年3月期1Q	27,006,396株	2026年3月期1Q	26,913,977株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想の数値は、当社が現在入手している情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、本業績予想の数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善の動きが続く中、個人消費や設備投資の持ち直しや各種政策の効果から、景気は緩やかな回復が見られました。一方で、中東情勢や米国の通商政策の動向、為替相場の円安基調の継続、物価上昇の継続などから、先行き不透明な状況が続いております。海外経済におきましては、米国では景気の拡大が緩やかとなる中、通商政策などの政策動向が米国内経済に与える影響は、引き続き見通し困難な状況にあります。欧州ではウクライナ情勢や中東情勢の地政学リスクが高く、引き続き低成長が続くと見られます。また、中国でも不動産市況の低迷や通商問題の先行き不透明感から、景気回復ペースは鈍化すると見られます。

当社グループが主要市場とする食品業界は、経済活動の正常化による個人消費の持ち直しの動きが見られるものの、各種コストの上昇を吸収するための値上げが続く中、消費者の節約志向が依然として継続し、引き続き厳しい経営環境が続いております。そのような環境下、大手・中堅ベーカリーによる設備投資は堅調さを維持し、流通・外食向けは復活傾向にあります。観光業界ではインバウンド観光客の増加による需要回復の動きが弱含みの状況にあります。また、当社商品が中小企業省力化投資補助金の対象に登録されたことに伴い、補助金を活用した設備案件が増加しております。

当社グループは、2032年度までの長期10年ビジョンを『レオロジー（流動学）技術で美味しさを求めつづける』と定め、食品の美味しさを追求することで多くの人に楽しんでもらい、その上で「スマートファクトリー」を実現する食品製造機械を提供していくことといたしました。中期経営計画（2023年度～2027年度）の4年目の今年度は、「①成長基盤の強化」、「②利益基盤の強化」、「③経営基盤の強化」の基本戦略の推進策として、新機種開発を強化し、為替変動や地政学リスク等の外的要因に大きく左右されない安定経営基盤を構築し、ガバナンス強化や人材育成に取り組んでまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は9,599百万円（前年同四半期比8.6%増）、営業利益は692百万円（前年同四半期比5.1%減）、経常利益は829百万円（前年同四半期比17.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は605百万円（前年同四半期比38.8%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、セグメント別の売上高は、外部顧客への売上高の数値を、セグメント利益は、セグメント間取引消去前かつ販売費及び一般管理費から本社一般管理費を除いた数値を、それぞれ記載しております。

食品加工機械製造販売事業（日本）

日本国内では、製パンライン等、修理その他、仕入商品の売上は減少しましたが、食品成形機の売上は増加しました。

その結果、外部顧客に対する売上高は1,888百万円（前年同四半期比3.9%増）となりました。

セグメント利益（営業利益）は1,249百万円（前年同四半期比48.9%増）となりました。

食品加工機械製造販売事業（北米・南米）

アメリカ地域では、食品成形機、修理その他の売上は増加しましたが、製パンライン等の売上は減少したため、現地通貨ベースでは、前年同四半期比19.5%減少となりました。

主な要因は、前年同四半期に大型案件の納入があったことにより相対的に売上が減少したことなどがあげられます。

円ベースでは、円換算に使用するUSドルの期中平均レートが144円59銭から159円49銭と10.3%の円安の影響もあり、外部顧客に対する売上高は1,296百万円（前年同四半期比11.2%減）となりました。

セグメント利益（営業利益）は売上構成の変動などにより132百万円（前年同四半期比376.0%増）となりました。

食品加工機械製造販売事業（ヨーロッパ）

ヨーロッパ地域では、食品成形機、製パンライン等、修理その他の売上が増加したため、現地通貨ベースでは、前年同四半期比25.5%増加となりました。

主な要因は、製品売価改定前の駆け込み需要を取り込んだことや欧州地域の設備投資需要が堅調に推移したことなどがあげられます。

円ベースでは、円換算に使用するユーロの期中平均レートが163円80銭から185円39銭と13.2%の円安の影響もあり、外部顧客に対する売上高は1,700百万円（前年同四半期比41.9%増）となりました。

セグメント利益（営業利益）は113百万円（前年同四半期はセグメント損失5百万円）となりました。

食品加工機械製造販売事業（アジア）

アジア地域では、修理その他の売上は増加しましたが、食品成形機、製パンライン等は減少しました。

主な要因は、中国向けの売上が減少したことなどがあげられます。

その結果、外部顧客に対する売上高は488百万円（前年同四半期比20.6%減）となりました。

セグメント利益（営業利益）は141百万円（前年同四半期比18.0%減）となりました。

食品製造販売事業（北米・南米）

アメリカ地域では、オレンジペーカリーの売上高が現地通貨ベースでは、前年同四半期比2.6%増加となりました。

主な要因は、新規顧客向けの売上が増加したことなどがあげられます。

円ベースでは、円換算に使用するUSドルの期中平均レートが144円59銭から159円49銭と10.3%の円安の影響もあり、外部顧客に対する売上高は4,111百万円（前年同四半期比13.2%増）となりました。

セグメント利益（営業利益）は原油価格の上昇に伴う荷造運搬費の増加などにより258百万円（前年同四半期比41.8%減）となりました。

食品製造販売事業（日本）

日本国内では、(有)ホシノ天然酵母パン種の外部顧客に対する売上高は112百万円（前年同四半期比4.1%減）となりました。

セグメント利益（営業利益）は8百万円（前年同四半期比3.4%減）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結累計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて497百万円増加し、54,903百万円となりました。主な要因は、仕掛品の増加などであります。負債は、前連結会計年度末に比べて48百万円増加し、11,391百万円となりました。主な要因は、前受金の増加などであります。純資産は、前連結会計年度末に比べて449百万円増加し、43,511百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金の増加などであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の売上高は概ね当初予想通りに推移しております。2026年5月15日発表の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,117,444	10,598,385
受取手形及び売掛金	4,658,125	3,513,512
商品及び製品	6,753,096	6,809,190
仕掛品	1,818,036	2,660,926
原材料及び貯蔵品	466,029	475,891
その他	925,494	1,087,454
貸倒引当金	△83,551	△89,325
流動資産合計	25,654,675	25,056,035
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,452,167	17,836,288
減価償却累計額	△10,239,473	△10,423,370
建物及び構築物（純額）	7,212,694	7,412,918
機械装置及び運搬具	12,813,943	13,012,821
減価償却累計額	△9,432,467	△9,686,373
機械装置及び運搬具（純額）	3,381,476	3,326,447
工具、器具及び備品	2,156,895	2,196,789
減価償却累計額	△1,880,224	△1,913,582
工具、器具及び備品（純額）	276,671	283,207
土地	6,641,823	6,695,940
リース資産	28,392	28,392
減価償却累計額	△15,221	△16,494
リース資産（純額）	13,170	11,897
建設仮勘定	5,161,098	5,603,527
有形固定資産合計	22,686,934	23,333,938
無形固定資産	1,190,016	1,164,676
投資その他の資産		
投資有価証券	2,386,381	2,893,406
退職給付に係る資産	2,189,254	2,192,846
その他	305,934	270,304
貸倒引当金	△7,953	△8,072
投資その他の資産合計	4,873,616	5,348,485
固定資産合計	28,750,567	29,847,100
資産合計	54,405,243	54,903,136

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,438,472	1,048,033
短期借入金	1,153,570	870,755
リース債務	5,601	5,558
未払金	978,354	961,163
未払費用	682,977	1,399,339
未払法人税等	797,525	626,088
前受金	3,619,797	4,262,888
賞与引当金	794,046	406,165
役員賞与引当金	34,200	8,550
その他	116,291	392,701
流動負債合計	9,620,837	9,981,244
固定負債		
長期借入金	573,483	523,646
リース債務	8,911	7,553
繰延税金負債	765,464	504,736
再評価に係る繰延税金負債	357,262	357,262
資産除去債務	16,877	16,877
その他	40	40
固定負債合計	1,722,040	1,410,116
負債合計	11,342,877	11,391,360
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,351,750	7,351,750
資本剰余金	7,251,852	7,254,822
利益剰余金	25,697,084	25,465,780
自己株式	△674,641	△673,223
株主資本合計	39,626,046	39,399,128
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,332,127	1,678,685
土地再評価差額金	△1,703,069	△1,703,069
為替換算調整勘定	3,240,823	3,484,511
退職給付に係る調整累計額	532,957	623,608
その他の包括利益累計額合計	3,402,838	4,083,735
新株予約権	33,481	28,910
純資産合計	43,062,365	43,511,775
負債純資産合計	54,405,243	54,903,136

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	8,842,655	9,599,121
売上原価	4,885,884	5,282,494
売上総利益	3,956,770	4,316,627
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	185,939	177,220
荷造運搬費	414,337	581,026
貸倒引当金繰入額	2,194	62
販売手数料	281,665	276,407
給料及び手当	829,114	881,938
賞与引当金繰入額	218,472	220,857
役員賞与引当金繰入額	8,550	8,550
退職給付費用	38,228	28,580
法定福利費	165,610	162,196
旅費及び交通費	131,021	141,611
減価償却費	149,114	121,420
研究開発費	148,957	123,043
その他	653,470	901,034
販売費及び一般管理費合計	3,226,677	3,623,949
営業利益	730,093	692,677
営業外収益		
受取利息	29,893	1,103
受取配当金	27,820	36,791
物品売却益	4,776	5,724
為替差益	—	77,018
保険解約返戻金	1,966	13,672
電力販売収益	6,357	6,600
その他	11,509	7,878
営業外収益合計	82,323	148,788
営業外費用		
支払利息	3,507	9,014
為替差損	98,378	—
電力販売費用	1,883	1,979
固定資産除却損	58	126
その他	1,241	373
営業外費用合計	105,069	11,493
経常利益	707,347	829,972
税金等調整前四半期純利益	707,347	829,972
法人税、住民税及び事業税	336,562	529,675
法人税等調整額	△65,675	△305,547
法人税等合計	270,886	224,128
四半期純利益	436,460	605,844
親会社株主に帰属する四半期純利益	436,460	605,844

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	436,460	605,844
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45,856	346,558
為替換算調整勘定	△244,717	243,688
退職給付に係る調整額	△6,945	90,651
その他の包括利益合計	△297,519	680,897
四半期包括利益	138,940	1,286,741
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	138,940	1,286,741

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(セグメント情報等の注記)
【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	1,817,514	1,460,599	1,198,868	615,502	5,092,484
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,217,848	20,761	—	—	2,238,609
計	4,035,362	1,481,360	1,198,868	615,502	7,331,093
セグメント利益又は損失(△)	839,363	27,775	△5,768	172,304	1,033,675

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	3,632,560	117,610	3,750,170	8,842,655
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	2,238,609
計	3,632,560	117,610	3,750,170	11,081,264
セグメント利益又は損失(△)	443,981	9,153	453,134	1,486,810

(注) 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米・南米……………アメリカ合衆国、メキシコ
- (2) ヨーロッパ……………ドイツ、イスラエル
- (3) アジア……………中国、インドネシア

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,486,810
セグメント間取引消去	△161,059
本社一般管理費(注)	△595,657
四半期連結損益計算書の営業利益	730,093

(注) 本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	1,888,169	1,296,990	1,700,918	488,918	5,374,997
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,703,218	21,292	—	—	2,724,510
計	4,591,388	1,318,282	1,700,918	488,918	8,099,508
セグメント利益	1,249,599	132,222	113,771	141,328	1,636,922

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	4,111,301	112,823	4,224,124	9,599,121
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	2,724,510
計	4,111,301	112,823	4,224,124	12,323,632
セグメント利益	258,414	8,846	267,260	1,904,183

（注）各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米・南米……………アメリカ合衆国、メキシコ
- (2) ヨーロッパ……………イタリア、オランダ、イギリス、ドイツ
- (3) アジア……………台湾

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利 益	金 額
報告セグメント計	1,904,183
セグメント間取引消去	△483,367
本社一般管理費（注）	△728,137
四半期連結損益計算書の営業利益	692,677

（注）本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	374,256千円	361,963千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。